

安心のゆくえ

地域発 医療再考

患者は「不安」を抱

は、三村副院長がそう

生きている。がんの

問い掛けた時だ。小学

場合はなおさらだ。告

生の幼い子どもを後に

知、余命宣告、再発の

残す不安。友人に弱っ

た姿を見せたくないと

恐れ。人生を大きく

狂わせる事態が、いつ

の思い。抑えていた気

来るとも分らない。

「頑張れ、なんてど

つてあふれ出た。

でも言えない」。金田

まだ子どもに、病氣

病院（真庭市西原）の

のことをきちんと伝え

られずにいた。この日

を境に、女性は自分を

冷静に見詰め始め、数

月月後に亡くなった。

は、三村副院長がそう

問い掛けた時だ。小学

生は幼い子どもを後に

知、余命宣告、再発の

残す不安。友人に弱っ

た姿を見せたくないと

恐れ。人生を大きく

狂わせる事態が、いつ

の思い。抑えていた気

来るとも分らない。

「頑張れ、なんてど

つてあふれ出た。

でも言えない」。金田

まだ子どもに、病氣

病院（真庭市西原）の

のことをきちんと伝え

られずにいた。この日

を境に、女性は自分を

冷静に見詰め始め、数

月月後に亡くなった。

を境に、女性は自分を

冷静に見詰め始め、数

月月後に亡くなった。

あと半歩 患者に近づくと

する部分なんです」

今月21日。岡山県

田キャンパス（岡山市

北区鹿田町）。医学部

5年生を前に、内富教

授の講義が始まった。

「インフォームドコ

ンセントは十分な説明

と同意という意味があ

る。でもその間に、患

者と医師の『情』、気

持ちをぜひ加えてほ

い」

次代を担う医学生に

思いを託したい。将

来はカリキュラムにS

HAREを取り入れる

計画だ。

「もう半歩。あと少

しいいから、医師は

患者に歩み寄ってほ

い。そうすれば、思い

の『ずれ』は必ず埋め

られる」

◆ シリーズ終わり

第7部は中浜隆宏、

佐藤貴宏、阿部光希、

井上光悦、河内慎太郎

が担当しました。

専門。がん患者や家族

のQOL（生活の質）

（シェア）」というト

ピント。

このプログラムに基

づく、日本サイコオン

コロジー学会などはコ

ロジを開発した。

患者の目を見て、礼

儀正しく話す▽患者を

支える言葉を添える▽

「知らせ」をどう伝える

か。内富教授はそのノ

る情報知らせる▽

最後まで見捨てないこ

とを伝える」などがポ

イント。

このプログラムに基

づく、日本サイコオン

コロジー学会などはコ

ロジを開発した。

患者の目を見て、礼

儀正しく話す▽患者を

05年に「SHARE

（シェア）」というト

ピント。

このプログラムに基

づく、日本サイコオン

コロジー学会などはコ

ロジを開発した。

患者の目を見て、礼

儀正しく話す▽患者を

支える言葉を添える▽

「知らせ」をどう伝える

か。内富教授はそのノ

る情報知らせる▽

最後まで見捨てないこ

とを伝える」などがポ

イント。

このプログラムに基

づく、日本サイコオン

コロジー学会などはコ

ロジを開発した。

患者の目を見て、礼

儀正しく話す▽患者を

支える言葉を添える▽

「残された時間を

どう過ごしたいのか、

家族は何を思っている

のか。研修会では、医

師は相手の気持ちをく

みとったり、引き出す

努力が求められている

と強く感じた」と話す。

「温かい一言を添え

るだけで、患者の受け

止め方は大きく変わ

る。そつした心のケア

が抜け落ちていた」と

内富教授。「でも、そ

れは医師が最も苦手と

思っている

SHAREのルーツ

は、内富教授が今年3

月まで勤めた国立がん

センター東病院（千葉

県柏市）にある。

同病院は1992年

の開院当初から、すべ

ての患者にがんを告知

している。当時、米国

では主流だったが、国

内はまだ賛否が割れて

いた。

だが数年後、告知し

た患者の2割がうつに

なり、残りも心に大き

なダメージを受けたこ

とが分かった。医師が

告知後に十分な心のケ

Aを怠ったり、告知が

事務的になっていたこ

とが原因だった。

内富教授らは99年、

患者ら約600人にア

ンケート。患者として

どう伝えてほしいかを

探り、SHAREにま

とめていった。

「温かい一言を添え

るだけで、患者の受け

止め方は大きく変わ

第7部は中浜隆宏、

佐藤貴宏、阿部光希、

井上光悦、河内慎太郎

が担当しました。

第7部 あすへつなく

⑧ 心のケア



学生に講義をする内富教授（右端）。若い世代への教育が医療を変える大きな原動力になると思っている

「患者はずっとフルマラソンを走っているのと同じ。僕ら医師に必要なのは、患者の気持ちを理解し、優しさを持って接すること」

「つらいことを（こちらも）分かっている」と伝えるだけで、患者は救われた気持ちになり、苦しみは癒える。

岡山大学院の内富庸介教授（51）は指摘する。

「つらいよね」

「サイコオンコロジ（精神腫瘍学）」が女性が変わったの